

第 21 回薬学同窓会学術講演会報告

令和元年 5 月 17 日に、第 21 回薬学同窓会学術講演会が開催されました。今回は、エーザイ株式会社 hhc データクリエーションセンター 兼 エーザイ・慶應義塾大学 認知症イノベーションラボの 佐藤 義明 博士（第 42 回生、臨床分析化学分野）をお招きし、「創薬研究における分析化学の重要性 ～分析が私に教えてくれたもの～」という演題でご講演を頂きました。

講演では、創薬の現場における物性研究やバイオマーカー研究の重要性を、佐藤博士の経験を踏まえてわかりやすく解説していただきました。また、佐藤博士の論文博士の取得や海外留学の経験を、ユーモアを交えながら紹介していただきました。本講演会は薬学部 2 年生向け基幹教育科目「薬学概論 2」の一部として実施されましたが、質疑応答では 2 年生からの積極的な質問があり、大いに盛り上がりました。

講演後の懇親会では、学生時代の思い出話にとどまらず、学部生向けの分析化学の講義の内容を熱く語り合い、楽しい時間はあっという間に過ぎ去ってしまいました。

ご多忙にも関わらず、また遠方よりご来学頂き、素晴らしいご講演を頂きました佐藤先生に改めて心より感謝致します。

(笹野 裕介)

